

「ぞうれっしゃがやってきた」について

1937年(昭和12年)木下サーカスから東山動物園にやうてきた4頭の象『アドン』『エルド』『マカニー』『キーコ』は、子どもたちの人気者でした。ところが、第2次世界大戦中、日本軍の命令により、全国の動物園でたくさん動物たちが次々と殺されていきました。そんな中で、名古屋の東山動物園の北王英一(きたおうひでいち)園長は、軍に抵抗して象を守ろうとしたのです。

戦争が終わり、1949年(昭和24年)全国でたった2頭生き残っていたマカニーとエルドを見たいという東京・台東区の子ども議会から始まった運動により、特別仕立ての「ぞうれっしゃ」号が走りました。ちなみに、ソウ列車第1号は1949年6月18日に滋賀県彦根市から出発しました。その後、東京、三重、埼玉、千葉…と、修学旅行をふくめ3万人以上の子どもたちが東山動物園を訪れました。

呼びかけ人

- | | |
|--------------------------|---------------------------------------|
| 天野 鎮雄 (俳優) | ソライダ・サルワラ Soraida Salwala |
| 岩本 達明 (合唱指揮者) | (Friends of Asian Elephant~アジア象の友 主宰) |
| 木下 唯志 (木下サーカス株式会社取締役社長) | 高橋 正志 (日本のうたごえ全国協議会会長) |
| 小宮 輝之 (東京都恩賜上野動物園園長) | 柳沢 明朗 (かながわぞうれっしゃネットワーク代表) |
| 朱成山 (侵華日軍南京大虐殺遇難同胞記念館館長) | |

第1部

〈ぞうれっしゃ〉を未来につなぐ
若いソリストたち



河崎 麻栄



長江 真弥



鷺見 真純

第2部

映像で見る
〈ぞうれっしゃ〉の歩み



ソウ列車が走って50年記念音楽会・「ぞうれっしゃ」全国合同演奏

東山動物園にソウ列車50年を記念したモニュメントを贈呈

第3部

合唱構成「ぞうれっしゃがやってきた」

- 原 作 / 小出 隆司 (同名絵本・岩崎書店刊)
作 詞 / 清水 則雄
作 曲 / 藤村 記一郎
吹奏楽編曲 / 戸田 顕
制 作 / 愛知子どもの幸せと平和を願う合唱団



奥村 晃平



伴 真由子



松本ウィンズ・コンサート

- 指 揮 / 藤村 記一郎
吹 奏 楽 / 松本ウィンズ・コンサート
園 長 / 奥村 晃平 (バリトン)
象使いの娘 / 伴 真由子 (ソプラノ)
軍 人 / 山口 昭雄
ピ エ オ / TEAM パフォーマンス・ラボ
(代表: 石井 秀幸)

合 唱 / ぞうれっしゃ60年記念合唱団

- | | |
|----------------------------|---------------|
| 愛知子どもの幸せと平和を願う合唱団 | 中村ぞうれっしゃ合唱団 |
| 蒲郡ぞう親子うたう会みかん | 親と子のみどりの社会合唱団 |
| 合唱団あかいし | 和歌山ぞうれっしゃ合唱団 |
| 古平・積丹ぞうれっしゃ合唱団 | 大空へ飛べ |
| 2009第4回松本平和コンサート・ぞうれっしゃ合唱団 | |
| 全国からの個人参加のみなさん | |

- スタッフ
舞台監督・照明 / 稲垣 清行
音 響 / 田牧 浩
練習指揮 / 藤村 記一郎 脇谷 直樹
練習ピアノ / 夏目 順子 島田 利津枝
チラシデザイン / 太田 裕介

問い合わせ先

事務局長 / 藤井 茂
〒453-0064 名古屋市中村区草薙町1-69 <電話/FAX> 052-413-3260
<PC mail> takako3292000@yahoo.co.jp
郵便替口座 / 00880-6-174260 ソウ列車が走って60年記念行事実行委員会

※保育あります(有料、11月22日までに事務局まで申し込んでください)

愛知子どもの幸せと平和を願う合唱団ホームページ <http://www.015.upp.so-net.ne.jp/shiawase/kodomo.htm>

主催: ソウ列車が走って60年記念行事実行委員会 愛知子どもの幸せと平和を願う合唱団 名古屋市立高等学校教員組合
後援: 愛知県教育委員会 名古屋市教育委員会 日本のうたごえ全国協議会

